

平成28年度ふるさと納税(きずなでホットしていあきた寄附金) 寄附状況と活用事業

寄附状況

平成28年度は、きずなでホットしていあきた寄附金に205,905,514円の寄附をいただきました。ありがとうございました。

寄附金の使いみちは、寄附申込時に6項目から選ぶことができます。
指定状況は以下のとおりです。

寄附の使いみち	件数	金額
1 産業の活性化	811件	40,679,000円
2 住みよい環境づくり	472件	19,528,514円
3 健康と安全安心	459件	27,721,500円
4 生き生きと暮らすために	748件	36,358,500円
5 人と文化をはぐくむために	217件	8,887,500円
6 市長が選ぶ取組	1,340件	72,730,500円
計	4,047件※	205,905,514円

※寄附件数は3,975件ですが、使いみちを複数選択している方もいらっしゃるため、件数の合計は4,047件となっています。

活用事業

1 産業の活性化のために (811件、¥40,679,000)



中心市街地のにぎわいづくりをはじめ、
商工農林業振興、観光振興、雇用拡大
の推進に使わせていただきます。

■ アンダー35正社員化促進事業 【事業費60,000千円、活用額17,088千円】

若年者の非正規社員を正社員に転換した市内企業に対し、1人当たり年額20万円を3年間交付します。

■ なでしこ秋田・働く女性応援事業 【事業費16,560千円、活用額4,716千円】

働く女性の活躍の場の拡大を図るため、職場環境の整備を支援するほか、女性管理職の登用促進を目的とした人材育成講座を開催します。

■ ホストタウン交流事業 【事業費34,592千円、活用額9,851千円】

ホストタウン交流計画に基づき、フィジー共和国と文化、スポーツ交流を実施します。また、マレーシアを相手国としたホストタウン登録を目指すとともに、同国とのスポーツ、文化交流を実施します。

■ 北前船寄港地交流促進事業 【事業費16,685千円、活用額4,752千円】

「北前船寄港地・船主集落」の日本遺産認定を受け、寄港地の魅力発信に取り組みます。

■ オール秋田「食と芸能」大祭典開催経費 【事業費15,000千円、活用額4,272千円】

県内の豊かな伝統芸能と食文化を集結したイベントを県都秋田市で開催します。

活用事業

2 住みよい環境づくりのために (472件、¥19,528,514)



地球温暖化対策をはじめ、環境保全への取組支援や市街地形成、住宅や道路の整備などに使わせていただきます。

■ 空き家定住推進事業【事業費12,363千円、活用額4,612千円】

空き家バンクに登録された空き家を購入又は賃借し、市外から移住する方などが行う改修時等に係る費用を補助し、空き家の利活用による移住・定住を促進します。

■ 多世帯同居・近居推進事業【事業費48,077千円、活用額13,741千円】

同居又は近居に必要な住宅の改修等に係る費用を補助する多世帯同居・近居推進事業について、市外から移住した方の場合は、補助上限額を引き上げるなど、手厚く支援し、移住の促進を図ります。

■ 自然環境体験活動促進事業【事業費1,820千円、活用額812千円】

秋田の豊かな自然を活用した体験教室や自然観察会などを開催する団体を支援することで、環境活動に取り組む民間団体を育成するとともに、未来を担う子どもたちに自然と共生することの大切さや楽しさについて学習する機会を設けます。

■ ホタル生息環境保全事業【事業費813千円、活用額363千円】

昨年度に実施したホタルの生息状況調査と水生生物調査の結果に基づき、専門家に意見を徴しながら、生息場所に適合した草刈、植栽、水路への石の投入などより多くのホタルが生息できる環境の向上に資する作業を行います。

また、小学生をはじめとした多くの市民等が事業に関心を抱いてもらえるようホタルのイラストが記載されたクリアファイルを作成し、随時配布します。

活用事業

3 健康と安全安心のために (459件、¥27,721,500)



市民生活の安全対策の実施や災害時の危機管理、保健・医療の充実などに使わせていただきます。

■ 自主防災組織育成事業【事業費3,341千円、活用額476千円】

市が地域と一体となった救護や救援を行える組織の育成と強化を図るため、市民への広報活動や各種防災研修会、防災訓練などを通じて、市民が主体となった防災活動の推進に努めます。

■ 老朽危険空き家等対策経費【事業費3,927千円、活用額559千円】

空家等対策特別措置法等の関係法令に基づき、適切な管理が行われていない空き家の所有者等に対し指導等を行うほか、危険性が高まった場合の必要最小限の安全措置や危険な空き家を解体撤去する所有者に対する補助金を交付します。

■ がん検診等事業【事業費225,046千円、活用額26,366千円】

疾病の早期発見・早期治療のため、各種がん検診、骨粗鬆症(こつそしょうしょう)検診、おとなの歯科健診および後期高齢者歯科健診を実施し、検診を受診しやすい体制づくりを推進します。

■ がん患者医療用ウィッグ等購入費助成事業【事業費2,249千円、活用額320千円】

がん治療に伴う脱毛時に使用する医療用ウィッグや乳がん手術後の乳房補正具の購入時の負担を軽減することで、医療用ウィッグおよび補正具の装着を進め、がん患者の社会参加の促進と療養生活の質の向上を図ります。

活用事業

4 生き生きと暮らすために (748件、¥36,358,500)



市民イベントの支援をはじめ、子育て支援、高齢者福祉、障がい者福祉の充実などに使わせていただきます。

■ 女性活躍推進事業【事業費3,214千円、活用額417千円】

女性が活躍できる環境づくりを推進するため、日本女性会議で得られたネットワークを活用してシンポジウム、分科会等を実施するほか、企業、各種団体において中核を担う人材の育成を支援する研修等を実施します。

■ エイジフレンドリーシティ推進事業【事業費4,000千円、活用額876千円】

秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画推進委員会を開催するほか、エイジフレンドリーシティ行動計画の推進に資する活動に取り組む市民活動団体「エイジフレンドリーあきた市民の会」に対し、補助金を交付します。

■ エイジフレンドリーシティ普及啓発事業【事業費5,831千円、活用額1,277千円】

エイジフレンドリーシティの実現に向けた取り組みを強化するため、エイジフレンドリーシティ情報の発信や普及啓発物品の作成・配布により、市民や企業・団体の意識啓発、市民活動の推進を図ります。

■ 高齢者コミュニティ活動創出・支援事業【事業費11,108千円、活用額2,432千円】

ボランティア、世代間交流、生きがい就労など、地域に活躍の場を求める元気な高齢者(リタイア層)の仲間づくり・動機付け・立ち上げ支援を行い、それらのコミュニティ活動を高齢者への生活支援や住民同士の支え合いとして地域に還元し、地域課題を解決する仕組みと体制構築を行います。

活用事業

4 生き生きと暮らすために (748件、¥36,358,500)

■ エイジフレンドリーパートナーづくり推進事業【事業費1,639千円、活用額359千円】

エイジフレンドリーシティ行動計画の基本理念、8つの基本方針に基づいて、高齢者や障がい者などにやさしい取組を継続的に行う事業者・団体等を募り、「エイジフレンドリーパートナー」として登録します。

■ 高齢者コインバス事業【事業費137,143千円、活用額30,032千円】

満65歳以上の高齢者が、市内の路線バスを利用する際、100円で乗車できるよう助成し、高齢者の外出の促進や生きがいづくりを支援します。

■ ワーク・ライフ・バランス推進事業【事業費4,804千円、活用額965千円】

ワーク・ライフ・バランスの啓発事業を推進するとともに、子育てにやさしい企業を「秋田市元気な子どものまちづくり企業」として認定し、社会的評価を高める取組を進め、子育てを社会全体で支える気運の醸成を図ります。

活用事業

5 人と文化をはぐくむために (217件、¥8,887,500)



市内のプロスポーツや、市民が主体となる芸術・文化の取組への支援などに使わせていただきます。

■ 「美術館の街」活性化事業【事業費41,524千円、活用額4,825千円】

県立美術館との合同印刷物作成など県市連携の取組を行うほか、多くの市民が芸術と触れ合う機会を創出し、中心市街地の活性化につなげるため、魅力ある展覧会を開催します。

■ 図書資料整備経費(市内5図書館分)【事業費18,205千円、活用額2,750千円】

市民の生涯にわたる読書活動の推進をはかるため、市民の必要とする図書を購入し貸出に供するほか、学習支援や情報収集等に役立つ図書を購入します。

■ かぞくぶっくぱっく事業【事業費8,169千円、活用額1,312千円】

自分ではあまり手に取ることないジャンルや作者との新しい出会いが期待できるよう、さまざまな内容かつ世代別の本を5冊詰め合わせた福袋的なパックを用意して貸出します。

活用事業

6 市長が選ぶ取組のために (1,340件、¥72,730,500)



市長が選ぶ取組では、「次世代の育成支援」および「芸術・文化・スポーツによるまちづくり」に関する事業に使わせていただきます。

～芸術・文化・スポーツによるまちづくり～

■ スポーツホームタウン推進事業【事業費33,252千円、活用額16,736千円】

トップスポーツクラブの活動を支援し、市民の一体感の醸成や本市のイメージアップなど、スポーツの力によるまちづくりを推進します。

～次世代の育成支援～

■ 移住促進事業【事業費28,085千円、活用額14,135千円】

ガイドブック等を作成し“あきた市暮らし”の魅力を広く発信するとともに、首都圏における移住相談体制の充実と、子育て世代をターゲットとした住居に関する支援策等の強化を通じ、本市への移住定住を促進します。

■ ふたりの出会い応援事業(シングルズカフェ秋田)【事業費7,112千円、活用額3,579千円】

20～30代の独身男女を対象としたシングルズカフェを開催し、出会いの場を提供するほか、セミナー開催により真剣な交際・結婚を意識づける取組を実施します。

■ ブックスタート推進事業【事業費2,807千円、活用額1,413千円】

秋田市在住の4か月以上1歳未満の乳児とその保護者を対象に、市立図書館等において絵本およびブックスタートマニュアル本等を収納したブックスタートパックを配布するとともに、図書館職員等が行う絵本読み聞かせを通じ、読み聞かせの円滑な普及とブックスタートの役割を広く周知します。

活用事業

6 市長が選ぶ取組のために (1,340件、¥72,730,500)

■ 第2子保育料無償化事業【事業費62,393千円、活用額25,083千円】

本市独自に保育料の助成を拡充し、一定の所得制限のもと、第2子以降の保育料を無償化することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減と子育て環境の向上を図ります。

■ 3歳未満児定員拡大推進事業【事業費12,724千円、活用額6,404千円】

3歳児の定員を拡大する私立認可保育所および認定こども園において、新規保育士雇用にかかる賃金等および定員拡大による区分金額の差額を補助します。

■ ファミリー・サポート・センター運営事業【事業費10,090千円、活用額1,693千円】

地域において子育ての援助を行いたい人(協力会員)および援助を受けたい人(利用会員)を組織化し、市民相互の援助活動を行うことにより、働きながら安心して子育てができるような環境づくりに資するとともに、地域において子育て機能の充実を図ります。

■ ファミリー・サポート・センター利用料助成事業【事業費2,814千円、活用額1,416千円】

ファミリー・サポート・センター利用者の経済的負担を軽減することにより、利用の促進を図るとともに、より安心して子育てができるよう支援を行います。

■ 妊娠期からの相談支援事業(秋田市版ネウボラ)【事業費6,613千円、活用額1,530千円】

妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して相談支援を提供することにより、切れ目のない支援を実施します。

■ 産前・産後サポート事業【事業費2,945千円、活用額741千円】

妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、助産師等による相談支援を行い、家庭や地域での妊産婦の孤立感の解消を図ります。